

問1 島根県にある石見銀山が、2007年に世界文化遺産に登録された歴史的な背景や理由として最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)

1. 16世紀から17世紀にかけて大量の銀を産出し、アジアだけでなくヨーロッパ諸国との貿易においても重要な役割を果たしたため。
2. 飛鳥時代に日本で初めて銅が発見された場所であり、日本最古の貨幣である和同開珎の原料を供給したため。
3. 明治維新後に政府によって官営模範工場が設置され、日本の近代産業の発展を象徴する場所となったため。
4. 瀬戸内海の手運を利用して全国に銅を供給し、江戸幕府の貨幣制度の安定を支えた最大の拠点であったため。

問2 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した日本最大級の銀山で、2007年に世界文化遺産に登録された場所を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)

1. 佐渡金山
2. 生野銀山
3. 石見銀山
4. 別子銅山

問3 室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地で実力を持った戦国大名が登場しました。彼らが幕府の法律に頼らず、自らの領国を独自に支配し、家臣や民衆を統制するために制定した法律を何とといいますか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)

1. 分国法
2. 御成敗式目
3. 武家諸法度
4. 公事方御定書

問4 16世紀後半に甲斐や信濃の一部で使われていた、度量衡に関する独自の基準である「甲州ます」の説明として、最も適切な記述を選びなさい。 (2020年 愛知県公立入試 類似)

1. 中央の京で使われていた標準的な枡とは容量が異なり、地域独自の経済基準として運用されていた
2. 将軍の足利義昭が京都の商人に命じて作らせ、全国の有力大名に配布した標準的な枡である
3. 南蛮貿易を通じてキリスト教の宣教師たちが持ち込んだ、西洋式の容積単位に基づいた枡である
4. 江戸幕府が貨幣制度の安定を目指して制定した、全国で唯一使用が認められた公認の計量器である

問5 14世紀から15世紀にかけて、室町幕府の支配力が次第に弱まり、幕府の権威が失墜していきました。このような社会情勢の中で、下の者が実力で上の者を倒して地位を奪う風潮が広まりましたが、この風潮を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)

1. 尊王攘夷
2. 下剋上
3. 門閥政治
4. 大政奉還

問6 戦国大名が定めた法律の内容に多く見られる、「家臣同士が私的な争いを起こした場合、その理由の正当性を問わず、双方とも処罰する」という原則を何と呼びますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)

1. 喧嘩両成敗
2. 目目安箱
3. 連座（縁座）
4. 奉公と恩賞

問7 日本地図において、中国地方の日本海側に面した島根県に所在し、かつて「灰吹法」という技術を導入して生産量を飛躍的に高めた銀山を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)

1. 石見銀山
2. 生野銀山
3. 富岡製糸場
4. 足尾銅山

問8 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)

1. 鎌倉幕府が御家人たちの領地争いを裁判によって公正に解決し、武士の支持を集めようとしたから
2. 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから
3. 江戸幕府が大名たちの婚姻や城の修理を制限し、全国の諸大名を統制しようと考えたから
4. 明治政府が近代的な国家を建設するために、西洋の法制度を取り入れて国民の権利を定めようとしたから

問9 越前国の戦国大名である朝倉氏が、拠点である一乗谷を中心とした領国支配を強めるために実施した政策の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. 一乗谷を商業専用の都市とし、家臣が居住することを厳しく制限した。
2. 室町幕府の法令のみを遵守させ、独自の法による支配を一切行わなかった。
3. 家臣を一乗谷に集住させ、領内に勝手に城を築くことを禁止した。
4. 家臣をそれぞれの所領に住まわせ、各地に防御のための城を自由に築かせた。

問10 戦国時代の堺において、自治的な運営を支えた商人の経済力や、当時の文化的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。
2. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。
3. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。
4. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。

問11 15世紀後半の応仁の乱以降、室町幕府の権威が低下するなかで、各地の戦国大名が自らの領国内を独自に統治・管理するために制定した法律を何というか、正しい名称を選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)

1. 武家諸法度
2. 分国法
3. 御成敗式目
4. 公事方御定書

問12 戦国時代、現在の島根県に位置する石見銀山は日本最大級の銀山として知られていました。この銀山の支配権をめぐる、中国地方を舞台に激しい抗争を繰り広げた戦国大名の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)

1. 島津氏と大友氏
2. 尼子氏と毛利氏
3. 織田氏と今川氏
4. 武田氏と上杉氏

問13 戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)

1. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。
2. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を実力で排除して自治を行った。
3. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実力行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。
4. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。